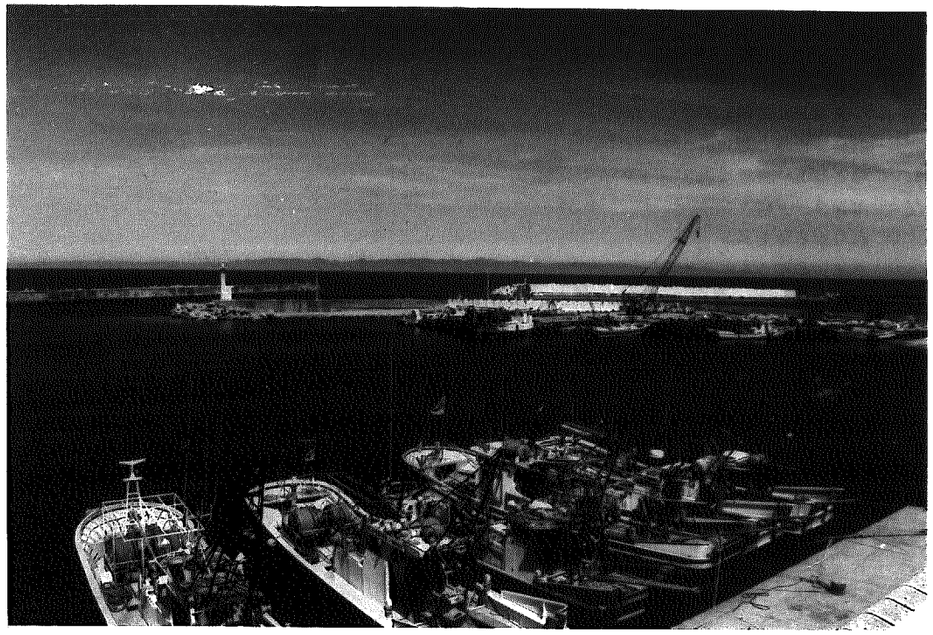
間瀬の海で働いてみませんか?!



近年、農業の後継者不足が問題となっています。しかし正直なところ、漁業の後継者不足はより深刻なのです。

そこで国や県、村でも漁港の整備や無利子・低利な資金の貸付けを行うなど漁業環境の整備に努め、若い人が漁業に取り組める環境づくりを行っています。皆さんの中で漁業に興味のある方、ぜひチャレンジしてみませんか！

漁業を取り巻く情勢

数年前まで世界一の漁業国であった我が国の遠洋漁業は、二百海里体制の定着や野生生物保護のための漁獲の規制等により、相対的に沿岸漁業、養殖業の重要性が高まっています。

しかし、収入の不安定感や労働環境の問題、漁村における社会資本の整備の遅れなどのため、若者が都市部へ流出し、漁業者の高齢化が進んでおり、後継者が不足しているというのが現状です。

間瀬漁業はいま…

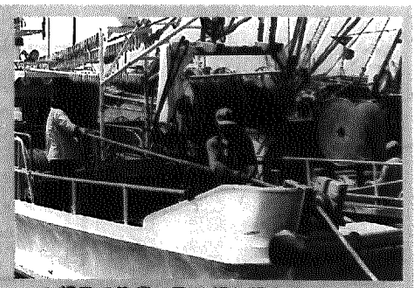
現在、間瀬漁港には二十八㌢の船があります。しかし、二十代、三十代の漁師はごくわずかで、その大半は五十歳以上の方々です。自然が相手の職業なので収入が固定されないとか、朝がとても早い（夏は四時、冬でも六時には出漁）という理由で敬遠する若者が多いのが原因のようです。

しかし、「漁師の稼働日数は多くても年間百七十日、船主は社長のようなもので、やる気さえあればいい収入が得られる。それに、何といってもサラリーマンにはない自由がある」と間瀬漁協組合長の本間儀一郎さん。さらに「間瀬は漁場が近く港も整備されており、また岩室・弥彦の温泉街や寺泊の魚のアメ横など観光地に近いので、需要も多く魚価は県下一」とも。

では、漁師になるには、

漁業は、何も間瀬の人たちだけのものではありません。村内の人であれば、年間百二十日以上漁業に従事するなど一定の条件を満たせば誰にでもなれます。

間瀬の漁業に興味をお持ちの皆さん、**間瀬漁協**（☎85－二〇〇二）までご連絡ください。



▲親子で漁業に取り組む横山さん

今回登場していただいたのは、十五歳の時から漁船に乗り始め、まだ二十二歳という若さの**横山勝**（間瀬三区）さんです。

◇　◇　◇　◇

「漁業をやっていて一番うれしいのは、何といっても魚がたくさんとれた時ですね。逆につらいのは朝が早いこと。今朝も三時に起きました」と横山さん。週休二日制になり、以前と違って疲れて体がもたないということはなくなったそうです。周りにもっと若い人がいれば…と、照れながらインタビューに答えてくれた横山さんの笑顔が印象的でした。

▶照れながら質問に応じる横山さん

水の日
8月1日

水の週間
8月1～7日

天が与えてくれる貴重な資源――水

水は、人間はもちろん動植物すべての生命の源です。雨が大地に降り、緑が育ち、それを動物が食べたり、また、飲み水にしたりして生きていくのです。

地球表面の三分の二を占める水。しかし、その約九七％は海水です。淡水はわずか三％―さらに、人間が利用できる水は〇・八％しかありません。〝水の惑星〟といわれる地球でも、私たち人間が使える水は、ほんのわずかしかないのです。

八月一日は「水の日」、この日から一週間は「水の週間」です。水は天が与えてくれる貴重な資源―家族みんなで、大切に使いましょう。

家庭で使う水の量は…

家庭内で使う水には、飲用・炊事・洗濯・入浴・水洗トイレなどがあります。平成元年度の国土庁の調査によると、一日当たり二〇〇ℓの水を消費しているという結果が出ています。（内訳は、下表のとおり）

こうした水も、工夫や使い方によって節水ができ、さらに別の使い道もあります。ぜひ実践してみてください。

家庭でできる節水対策

●台　所

蛇口は、こまめに開閉しましょう。野菜や食器を洗うときは、容器に水をためて洗ってください。

●ふ　ろ

家庭用の浴槽は、小さいものでも約二〇〇ℓの水が入ります。ふろの残り湯は捨てずに、洗濯や掃除、植木や庭の水まきなどに使いましょう。

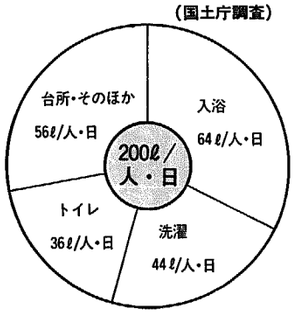
●歯みがき

歯みがきはコップ三杯分、約〇・六ℓの水で済みます。歯を磨いているときに、水を流しっぱなしにするのはやめましょう。

●洗　濯

洗濯は、ふろの残り湯を使いましょう。工夫すれば、百ℓほどの水ですみます（流しっぱなしだと二百ℓ以上）。

●家庭での水の使い道●
（国土庁調査）



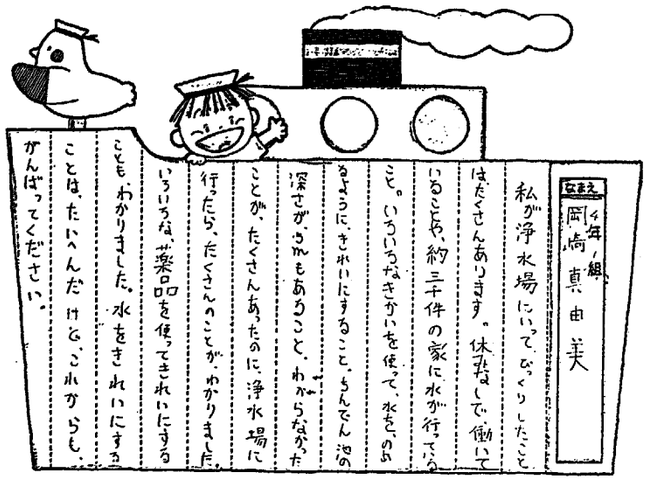
節水にご協力を！

今年は、降雨量が平年の半分以下という状況のまま、梅雨明けしました。県内でも、すでに水不足による減圧給水を実施した市町村もあります。

皆さんも、各家庭や職場において、節水にご協力をお願いします。

岩室小学校の4年生が、浄水場を見学！

去る6月3日、岩室小学校の4年生の児童が、社会科の授業で浄水場を見学に訪れました。当日は、企業課職員の説明を聞いた後、「川の水をどうやってきれいにするんですか？」などの質問をし、熱心に学習していきました。



▶見学に訪れた児童が書いた作文。

岩室村の水は“安全・安心”です！

（除草剤ＣＮＰは検出せず）

５月初め、新潟市の西川下流でＣＮＰ（クロルニトロフェン）が水質管理値の100ppt（1ℓ当たり0.0001mg）を上回る400pptも検出されました。

企業課が巻保健所の指導のもとで水質検査を行った結果、ＣＮＰは検出されませんでした。

今後も近隣の事業所との連絡を緊密にし、組織的に水質監視の強化を図り、より安全な水の供給に心がけます。

※除草剤のＣＮＰは、胆のうガンとの相関関係から『健康への影響が否定できない』として、この春から使用禁止となりました。